

## 今後の事業展開について

### セミナー・イベント事業

ソーシャルビジネス起業、地域起業、セカンドキャリア、プロボノ（社会人経験で得られたスキルや知識を活かして行うボランティア活動）など、生きがいや新しい居場所づくりのために学びや共創の場を運営します。

### つながり創出事業

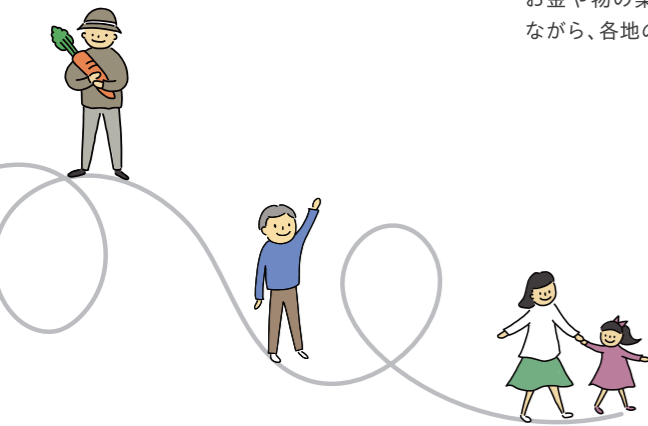
地域社会との接点を求めている方やアクティブシニアの方、若者、外国人など多様な切り口から、個人と新たなつながりを求める団体や企業が知り合う機会を提供し、セクターワイドかつ分野横断的な関係づくりに取り組みます。

### 不動産の利活用事業

各地のさまざまな知見やノウハウを駆使しながら、持続的な保全活用が求められる歴史的建造物について、活用事業構築・資金調達・主体的参画（工事実施・自主運営やマスターリース等）を行い、社会的財産として活用されるように取り組みます。

### 地域の資源と資金を活用した事業

お金や物の集まりである財団法人の特長を生かし、さまざまな専門家や実践者とながら、各地のプロジェクトをさまざまな手段で支える環境をつくります。



## 一般財団法人 社会価値共創ファーム

横浜市中区北仲通3-33

Email : info@sowt.foundation

基本財産: 300万円 設立登記日: 2023年4月28日

<https://sowt.foundation>

S O W T

一般財団法人 社会価値共創ファーム



## SOW A THOUGHT

### 想いの種をまこう

人口減少、高齢化、税収減という低迷する社会状況。

待ったなしの、地球温暖化。

社会課題は複雑に絡み合い、多様な解決策が求められています。

そんな今必要なのが、立場や枠組みを超えて、

”もの資本”と”ところ資本”が有機的にかけ合わせり、

自由な発想で、社会課題に向き合う“主体的な関係性”の構築。

わたしたちは、“主体的な関係性”をつむぎ、

それらが持続的に成長するエコシステムをつくり、

社会課題に向き合う新しい価値を生みだします。

S O W T

一般財団法人 社会価値共創ファーム

# “Be a catalyst to evoke, connect, and nurture initiative!”

主体性を呼び起こし、つなぎ、育てる触媒になります

## 沿革

### ● 一般財団法人社会価値共創ファームは2023年の4月に設立登記した新しい財団です

横浜を拠点にして公民連携に取り組んできた関内イノベーションイニシアティブ株式会社の代表取締役であった治田友香(現在は執行役員)が、数年間の構想検討期間をへて、自ら発起人となり立ち上げる。株式会社(営利企業)で10年以上まちづくりに携わってきたなかで、まちの課題は市場論理だけでは解決できない側面があり、民間企業が参入しない現場を放置することは課題の先送りにつながることを痛感。そこで、より社会の公共的領域に深くコミットしていくことを目指し、新財団を立ち上げるに至る。



### ● 基本財産のクラウドファンディング

財団の基本財産は、クラウドファンディングを呼びかけ、2023年3月15日~4月21日の38日間で4,895,500円と、多くのご支援をいただいた。



### ● 設立記念パーティー

2023年4月設立総会、5月に設立記念パーティーを横浜の関内エリアにて行った。



### ● 一般財団法人社会価値共創ファームへ

当初、一般財団法人社会価値共創財団として立ち上がった当財団は、2024年に名称を「一般財団法人社会価値共創ファーム」と変更。

#### 愛称とロゴマーク

当財団の愛称、SOWTは想いの種をまくという意味の「Sow a thought」からとった略語で、ソウトと読みます。ロゴマークにはゆとりをもたせて余白を意識し、これからの可能性や関わりしるを連想させるものにししました。色合いは空をイメージした横浜らしい青と若葉をイメージした若草色で、のびやかな生態系を想起させます。作成にあたっては天野和俊さんに協力を依頼し議論を重ね決定しました。

# SOWT

一般財団法人 社会価値共創ファーム

## 知る

社会課題への気づきを共有し、自分ゴト化する機会を創出します



## 立ち上げる

思考し行動することを支援します  
(スタートアップ支援、クラファン等)



## 拡張させる

蓄積されたデータを活かして、成功と自信を巡らせるシステムを構築します

## 出会う

ビジョンを共有できる人たちとの対等で豊かな関係性を構築します



## 育てる(育む)

立ち上がったPJを支援します  
(投資、アクセラレーター支援等)



## member 財団メンバー



代表理事 治田 友香

関内イノベーションイニシアティブ株式会社  
執行役員/創設メンバー

東京都足立区生まれ、横浜在住24年。新卒入社したマンションデベロッパーを経て、大学院に通いながらNPO支援業界に携わり、1998年3月成立したNPO法の立法活動の事務局を経験。現在は主としてソーシャルビジネス支援を生業とし、かれこれ25年ほどソーシャルセクターの基盤強化をミッションとして仕事をしている。



理事 野原 卓

横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授  
都市デザイナー(博士(工学)・一級建築士)

都市計画・都市デザイン・まちづくりを研究分野としつつ、横浜市都市美対策審議会委員や横浜市創造界隈形成推進委員会委員長なども歴任。横浜市「みつけるみなぶん」社会実験や「都市デザイン横浜展」、相鉄南万騎が原駅前「みなまきラボ」などのほか、全国各地のまちづくり活動に関わる。



理事 中村 圭

株式会社メディアゾーン『7NaNatural』ブランドディレクター  
クリエイティブディレクター

2007年メディアゾーン入社。自社メディアの編集者を経て、美容、ウェルネス商材などを中心に、女性のライフスタイル提案を行う企業、およびブランドのブランディング、プロモーションの支援を担当。2019年11月に(株)トキワによる“ビューティーアクセラレータープログラム”でアワードを受賞し、2022年3月クリーンビューティーブランド『7NaNatural』をローンチ。



評議員 五味 廣文

株式会社 SBI 新生銀行取締役会長、元金融庁長官

1949年横浜市生まれ。東京大学法学部を卒業後、1972年大蔵省(現財務省)入省。1998年金融監督庁(現金融庁)に移籍して金融危機対応に奔走。2004年-2007年金融庁長官。西村あさひ法律事務所、ボストンコンサルティンググループなどを経て、現在SBI新生銀行会長。ヒト、モノ、コト、カネのつながりが社会を作ると考え、妻の主催するNPO法人「ハートフル・ポート」の監事も務める。



評議員 中島 智人

社会経済研究者

イギリスでの留学を経て、イギリスのチャリティを中心とした非営利組織、協同組合、社会的企業など市民社会組織の制度や組織、市民社会組織と行政との協働について研究。その経験を活かし日本での研究を進める他、県・市での市民活動や市民協働にかかわる委員会や補助金・助成金の審査会委員を務める。また、非営利法人の役員としての立場でさまざまな市民活動にもかかわっている。



評議員 椎野 修平

関内イノベーションイニシアティブ株式会社 アドバイザー

神奈川県庁にて税務、国際交流、児童福祉などを担当。1996年全国に先駆けて開設された「かながわ県民活動サポートセンター」に10年間勤務。市民活動やNPOの支援に取り組む。この間「かながわボランティア活動推進基金21」の設立に関わり、NPOと行政の協働事業への資金提供の仕組みを構築。日本NPOセンターにて東日本大震災の被災地のNPO支援などにも携わる。



監事 矢部 智仁

合同会社 RRP 代表社員

合同会社RRP代表。建設・不動産向け経営コンサルタント、PPP推進支援に関わる。大学卒業後、株式会社リクルート入社。広告企画営業を経てリクルート住宅総研所長として市場調査や講演活動に従事しながら行政設置委員会の委員等を歴任。退職後は経営コンサルタント会社役員を経て2021年から現職。東洋大学大学院 公民連携専攻 客員教授、(公社)日本不動産学会監事、国土交通省PPPサポーターとしても活動中。